

宇宙生命哲学

ことばはじめ

北里環境科学センター
名誉顧問／宇宙生命哲学者

伊藤 俊洋

33

宇宙生命哲学とは何か？

2021年3月11日は、東日本大震災から10年の記憶すべき日である。これを機に、これまでのコラムの内容を、要約してみる。

宇宙生命哲学とは何か？

宇宙生命哲学は、地球上に現存する人類の一人一人が、宇宙における立ち位置と役割を踏まえ、尊厳を持って生きるための哲学である。その根幹をなす考え方をまとめると、次のようになる。

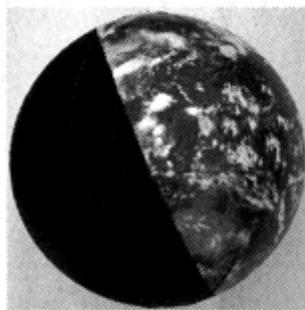
①全ての生物は、地球環境という閉鎖空間の中で、常に、原子・分子のレベルで組み替えられ、繋がりが、循環している。

②地球上の全ての生命現象は、化学反応として説明できる筈だが、人類は未だその一部を果したに過ぎない。人類は、化学反応の中に大いなるフロンティア（開拓の余地と可能性）を残している。

③地球上の生命現象は、過去から現在、現在から未来へ循環する、時空を超えた高次元巨大環境生命体「宇宙船地球号」と考えることができる。

これらを土台に考えるならば、人類の永遠のテーマである「我々は何処から来たのか、いま何処にいるのか、これから何処へゆくのか」という問いに対しては、地球環境の中の生命の循環という事実によって、応える事ができる。

人類は、地球上のすべての生物を乗船者とする「宇宙船地球号」のパイロットとして、より良い地球環境の維持・保全を担う地球環境防衛隊員の自覚を持たなくてはならない。



宇宙から地球を見ると
半分は昼で半分は夜

人の死とは、絶望的な奈落の淵に落ちて行くことではなく、この地球上で、

新しい環境の一部として生まれ変わることである。

人の一生は、「素敵な地球人になる終わりのない練習」を続けることである。「素敵な地球人」の定義は個人個人で異なり、練習だから失敗も許される。

人生は、それぞれの人が、自分の目指す素敵な地球人像を、生涯かけて探し続けることである。

急がず、休まず、ゆっくりと、着実に、一歩、一歩、自分のペースで人生を刻んでゆく。その過程で、人と交流し、学び、互いに助け合いながら、自分の人生を思う存分、楽しむことである。

《現時点で私の考える素敵な地球人の例を紹介する。》

地球人は、国家・人種・民族・宗教・性別・貧富の差・文化・文明の壁を越えて仲良くし、あらゆる人権、民族の多様性、そして生物多様性を尊重する。全ての生物を大切にし、自分の心の宇宙を、広く、深く、豊かなものにする努力を、死ぬまで続ける人間が、「素敵な地球人」だと思ふ。